

神戸市歴史公文書館の整備

行財政局総務課文書館

神戸市歴史公文書館は、歴史的に価値のある公文書や市史編纂のために神戸市文書館が収集してきた地域歴史資料等を適切に保存し、利用する施設として整備する。

(1) 施設概要

- ・国の登録有形文化財「旧岡方倶楽部」(兵庫区本町2丁目)の既存建物の改修と敷地内に新設棟の整備を行い、令和8(2026)年6月の開館を予定する。
- ・現在の神戸市文書館(中央区熊内町1丁目)は、保存資料とともに歴史公文書館へ機能を移転する。

■本館(新設棟)

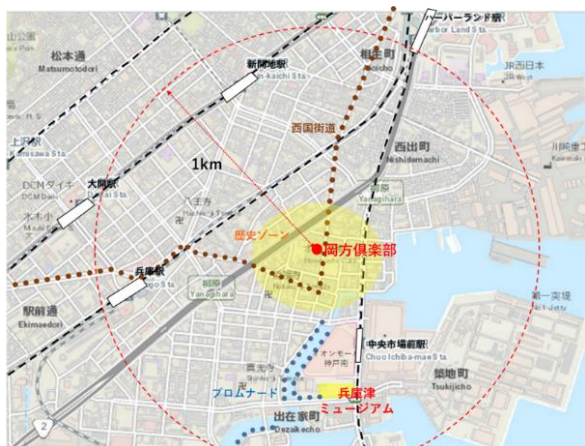
階数 : 地上5階建て
延床面積 約1,600㎡
主な機能: 書庫、閲覧室、事務室など

■別館(旧岡方倶楽部)

階数 : 地上3階建て
延床面積 約530㎡
主な機能: 展示室、書庫など



新設棟・閲覧室イメージ



完成予想図

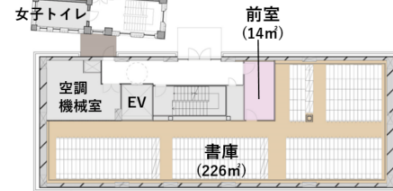
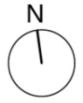
● 平面計画（１～３階）

（１階）

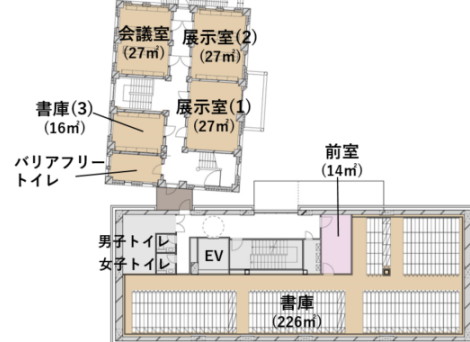


（３階）

(R6.10)



（２階）



（２）歴史公文書館の事業

■歴史的公文書等の保存

明治期、大正期に作成・取得した貴重な公文書や阪神・淡路大震災に関連する公文書などの歴史的公文書等を永久に保存していくため、適切な保存環境の維持による劣化への予防策に取り組み、資料の修復や撮影を行う。

■歴史的公文書等の整理、閲覧提供

歴史的公文書等を整理・デジタル化し、資料管理システム（デジタルアーカイブ）を構築することで、利用者の利便性を高める。

■歴史的公文書等に関する調査研究

歴史的公文書等に関する調査研究を行い、その成果を発信するとともに、レファレンスサービス（資料の利用に伴う調査相談対応）の向上につなげる。

■普及活動

市政史と神戸の歴史を伝える常設展示、企画展や講座の開催、ホームページからの情報発信等を通じて歴史公文書館の普及・広報活動に努める。